たいよう

発行所
太洋基礎工業㈱
たいよう新聞委員会

最前線レポート

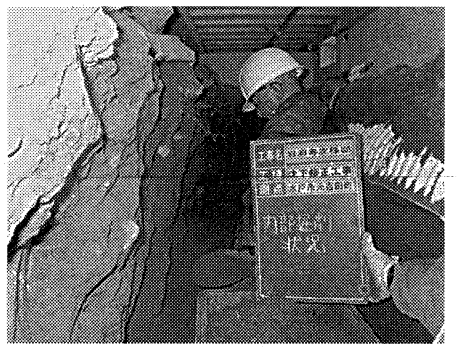
工事名
岩淵寿次様邸沈下修正工事
元請会社
積水ハウス株式会社　　水戸支店
工期
平成二四年一〇月二三日～
平成二四年一一月一七日
工事場所
茨城県水戸市元吉田町地内
工事概要
鋼管杭φ一六五・二㎜
L＝二・五m×六箇所
ソイルバック二七箇所
最大修正量　二一一㎜
立坑　三箇所
内部トンネル長約二四m

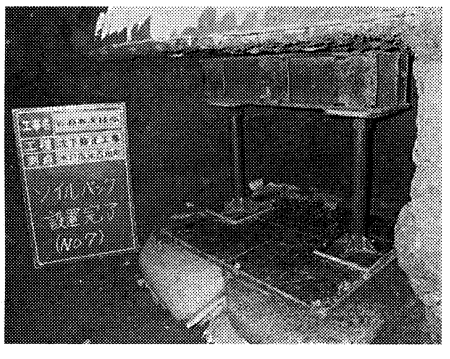
昨年の東日本大震災で多くの住宅が傾き、東京支店では茨城県を中心に修正工事を施工しました。工事の大半は昨年で完了しましたが、茨城県内ではいまだに沈下、傾斜している住宅を目にする事があります。今回、水戸市元吉田町地内で震災により擁壁が傾斜し、住宅に影響が出た物件の矯正工事を受注、施工しました。現場は水戸駅から遠くない閑静な住宅地です。道路はまだ復旧が進んでおらず凸凹が多く、所々でマンホールが上がっている状態です。当現場は擁壁の埋戻し部分に建物が掛かっているため擁壁部分は鋼管杭、その他の箇所はソイルバック（特殊土嚢）を反力としジャッキアップを行いました。

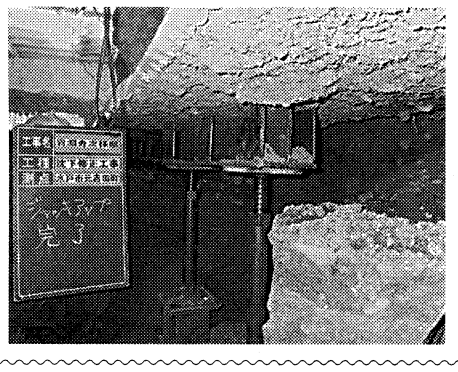
施工（反力箇所配置等）は積水ハウス(株)施工部様ご指導の元で行い、建物外部に立坑（縦一m×横一m×長さ一二m）を設け基礎直下の横を幅〇・九m×深さ〇・九mの大きさで人力にて掘削し反力を設置しました。掘削した土砂は台車で立坑部まで運び、バックホウにて上げ出し、一輪車で回転バケットまで運び、ユニックでダンプに積むという土の搬出作業を四工程で行い、鋼管杭は一本当たり長さ〇・五mの物を油圧ジャッキにて建物を反力に圧入し、擁壁ベースに当たるまで継ぎ足していきました。ソイルバックは特殊土嚢に三〇～〇の砕石（バージン）約一八トン入れた物を転圧しながら敷き並べ四個×二段積み、上部に鉄板（五〇〇㎜×六〇〇㎜×一六㎜）を水平に設置し反力体としました。

現場の土質は、擁壁埋戻し部分は砂質土系の盛土、その他の部分は粘性土でN値も高く掘削に時間を要していますが、一日当たり約三・五㎥の土を掘削しています。施工管理は機械事業本部から沈下修正工事のエキスパート田中一生君が担当し、着工以来問題も無く無事故で進めています。ジャッキアップは一一月一〇日に一〇tジャッキ三三台を各所に設置し、一サイクル二〇㎜ずつ慎重に行い室内レベルを確認しながら約五時間で完了しました。最終レベル確認は積水ハウス(株) 水戸支店建築課湯藤建築長様にして頂き了承を頂きました。一一月一二日に再度室内レベルを測量し建物に変化が無いことを確認してから立坑の埋戻しを行い、掘削部・空隙部にエアーミルク及びセメントミルクを充填して無事完了する事が出来ました。施主の岩淵様より感謝のお言葉を頂き職員、施工業者一同、とても嬉しい気持ちになりました。

冒頭に書きましたが、まだまだ震災により沈下した住宅が沢山あります。地震保険等を掛けていた方は直ぐに修正工事を行う事が出来ましたが、そうではない方々は資金等の問題で工事をせずそのままの状態で生活されています。傾いた家で生活を続けると身体に悪影響が出てしまいます。立て直しや新築するより住み慣れた愛着のある家を修正する方がコストも安く生活







声援

読書の秋

我が太洋が標榜する「三工法日本一」、中でも気泡掘削によるTRD工法が東京外環自動車道市川中工事で大活躍中です。この大工事に我が社で開発した技術によって参加出来ていることは社員の喜びであり、大変嬉しいニュースです。

さて今年読んだ本の中で二冊が技術の大切さ、真摯に仕事または開発に取り組む姿を描いており、感銘を受けましたので、その粗筋と感想を述べてみたいと思います。

一冊目は池井戸潤著「下町ロケット」です。最近の話題作であり、直木賞受賞作ですから読まれた方も多いと思いますが、敢えて取り上げました。

東京の下町にある小さな会社が自社製品に依って民間で初めてとなる宇宙ロケット開発に参加する物語です。その製品こそロケット開発の命運を握る、液体燃料をマイナス二五三度の超低温、真空から三〇〇気圧以上の高圧下の環境下で燃料室への注入量をコントロールするバルブで、ロケット開発を競い合う各国メーカーにとってもトップシークレットになっているのです。国家的大プロジェクトですから中心となる会社も日本を代表する大会社ということになります。開発を手がける大企業とブの特許権を持つ中小企業との交渉の中で資金力とネームバリューにものを言わせて使用権を取得しようとする大会社と使用権の譲渡によって大金を得るか、あくまでも自社の技術として対等に開発に参加しようとする葛藤が続く中で最後は大金ではなく技術力で大プロジェクトに参加していくわけです。作者が言いたかったのは中小企業が堂々と大企業と渉りあう勇気と何よりも自分たちの技術を大切にする技術屋としての矜持を著した作品でした。技術で飯を食う我が社と重ね合わせるとき、生き残る術はこれなんだろうなと思いました。今後も更なる技術開発で未来を切り広げていけたらと思います。

次は帚木蓬生著「水神」です。江戸時代の寛文年間の頃、九州筑後の国久留米藩の筑後川沿いの水利に恵まれない農地に堰渠と溝渠を築き、苦しんできた農民を救った話です。大河が直ぐ傍を流れる土地で在りながら台地であるがために「打桶」と云う人力に頼って僅かながらの水で細々と暮らす地に一人の庄屋の数年に亙る踏査と計画、それに賛同する庄屋四人と一人の老武士が藩に替わって全財産と失敗すれば命をも差し出す覚悟で不可能とされていた土地に恵みをもたらした物語です。

昨今は「スーパー堤防は要らない」等と云う政治家がいる世の中ですが、子々孫々までの繁栄を見据え、特に土木技術を駆使した事業に命を懸けて成し遂げたその根幹にある人間の生き方、奉仕、犠牲の精神等に感銘を受けました。紹介が稚拙で作者の言わんとするところを皆様に伝えきれないのが残念です。

小説と現実を同一には出来ませんが、物造り或いは土木工事が厳しい中に夢があり、生涯を掛けるに相応しい仕事だと感じる人が多ければと思う昨今です。

東京支店
顧問　吉田　圭介

共生共遊

錦秋の爽やかな季節を迎えています。チェンジで就任し前進で再選を果たしたオバマ米大統領。相手候補ロムニー氏の経営手腕を国家経営に生かして欲しいと期待した経済界、ウォール街の失望の表れでしょうか。再選直後のNYダウは一次的に三〇〇ドル超値を下げました。欧州の経済不況に重なる様に米国経済が落ち込めば、更なる日本経済の不況に拍車がかかるのは必至。大統領選の結果による気の重いNYダウ下落と受け止めました。

そんな世界情勢の中、東日本大震災の復興、福島第一原発事故の収束及びエネルギー問題、少子化による社会保障の安定的継続、尖閣・竹島問題、国の借金が九三八兆円もある今、難しい国の舵取りが求められる国会は政策より政局優先不毛の場と化し、年末を控えたこの時期選挙かよと言いたいところですが、NYと違って東京は株価上昇、これ以下の政権はないとの経済界の判断であろう。再選されたオバマ大統領勝利演説で米国の最高の時期はこれからだと心の底で理解している。また何かをして貰うのではなく、辛くとも必要な自己統治の作業を共に行い何ができるかだと説き、米国の将来にこんな希望を抱いたことは今までにないとも語っていました。幸い我らの職域はチェンジと前進を経営の鉄則として不況を乗り切ってきましたが、国の無策もあって需要と供給の差は何時まで経っても埋まっていません。季節は錦秋の季節を迎えていますが、市場は厳冬の建設業大不況下、オバマ大統領の説くように辛くとも必要な自己統治に励み、太洋の将来こんなに希望を抱いたことがないと言える現場作りに励みたいものです。

顧問　豊住　満

建設技術フェア2012 in 中部に参加しました

平成二四年一〇月二五日（木）～二六日（金）の二日間、名古屋市内にある国土交通省中部技術事務所にて建設技術フェア2012in中部が盛大に開催されました。当社を含めゼネコン様、地元業者様、役所関係、学校関係等多くの分野からの出展があり、それぞれ思いのこもった展示がされ、活気のあふれるフェアとなりました。

当社のブースでは、NETIS登録されている深層混合改良のTSC工法、地中連続壁のTRD工法、軽量盛土で注目されているN-SPC工法を始め、建物矯正工事のすいへい君や再生可能エネルギーで話題の地中熱利用、太陽光発電等を中心にPRさせて頂きました。

二日間とも天気が良く例年以上の来場者がありました。当社ブースに来られた方への説明に職員が追われることもしばしばあり、来場者の関心の高さを強く感じました。特に午前中は地元学生の方が多く、その中でも女性の方が熱心に質問をしてこられたのが印象的でした。午後はゼネコン様、地元業者様等の来場が目立ちました。

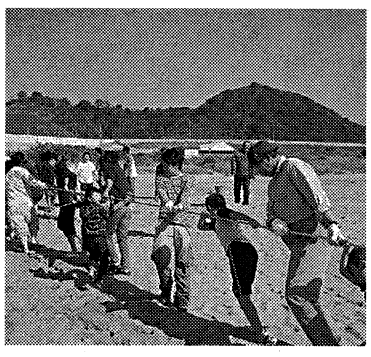
今回、当社として特に力をいれた深層混合改良のTSC工法は、実際に施工で使用する撹拌ビットを展示したこともあり、多くの方々から質問を受けました。小規模住宅から大規模の低層建築物まで施工が可能であることやTSCバーの特徴を分かり易く説明することで、多くの方に理解して頂き、今後の受注活動に大きな力になったことと確信しています。

最後に、当ブースに来られたお得意様を始め、多くのお客様に紙面を借りてお礼申し上げます。

名古屋支店　環境部
副部長　由谷　武

静岡・名古屋合同 地曳網大会開催

一〇月二一日(日)、遠州灘潮見坂海岸（湖西市）で毎年恒例の地曳網大会が開催されました。一昨年は天候不順、昨年は波が高く、二年連続で網を引くことはできませんでしたが、今年こそはという皆んなの思いが通じたのか、無事地曳網を引くことができました。



今回は職員、協力会の方々総勢七八名、子供達も含めると約一〇〇名の方が参加しました。

最初に漁師の方が網を仕掛けるため、波が高く大変な作業でしたが、皆んなで舟を砂浜から押しました。舟が浜を離れ、網を仕掛けている間、浜で待ち、そして待ちに待った地曳網を引く作業が始まりました。海に向かった二本の縄を二手に分かれて引っ張りました。長い縄なので一度では引っ張りきれません。何度も繰り返し力一杯縄を引っ張りました。およそ三〇分後、網が海から引きずり出され、多くの魚が網にかかっていました。子供達も大はしゃぎで網の中に入った取れたての魚を触ったり、取れた魚をバケツに移したりと、とても楽しそうでした。

魚はスズキやサヨリ、シラスなどが取れ、大きなバケツ三杯分の大漁でした。採れたてのシラスを海水で洗ってその場で食べている方もいました。

その後は恒例のバーベキューで焼きそばやカレー、焼肉、おでんなどが振舞われ、大勢の方が食べながら楽しそうに話をしていました。私も以前在籍した名古屋支店の方と協力して焼きそばや焼肉を焼いたり、話をしたりと楽しいひとときを過ごしました。一〇月も終わりに近い朝晩は涼しさを感じられる時期ですが、日中は日差しも暖かく、美味しい料理や話で楽しい一日となりました。

最後に地曳網大会を開催するにあたり、前日から準備をして下さった豊住顧問はじめ機械事業本部の皆様、美味しい料理を用意して下さった皆様、ありがとうございました。

静岡支店　開発部
有馬　陽介

安全だより

例年年の瀬になりますと「無事故の歳末明るい正月」と建設業界ではなじみのフレーズが聞こえてきます。簡単な言葉のようですが、改めて心の中から言い聞かせて下さい。大切な個人、家族、会社にとっての原点、安全第一で平成二四年度建設業年末年始労働災害防止強調期間に取り組みましょう。

・期　間
平成二四年一二月一日
～平成二五年一月一五日
・主　唱
建設業労働災害防止協会
・後　援
厚生労働省、国土交通省

例年のことですが、一年の締めと一年の始めに当たる年末年始は何かと気忙しく、一般的にも事故、火災、盗難などの発生が多くなります。我々建設業においても各社厳しい経営環境の中、企業の生き残りをかけ、毎日必死に頑張っております。その様な状況下で災害が発生しようものなら、一生懸命頑張って働いていても会社の存続すら難しくなります。経営トップの明確な方針と従業員、関係者が一体となった効果的な労働災害防止活動を推進致しましょう。

運動の主旨としましては、年末年始無災害運動は働く人達が年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるようにとの趣旨で始まりました。我が国における労働災害の発生件数は実に三三年ぶりに平成二二、二三年と連続増加しており、極めて憂慮すべき事態となっております。このような状況をふまえ厚労省安全衛生部長より「労働災害減少に向けた緊急要請」が発せられたところです。

一方、健康面では労働者のメンタルヘルス不調や過重労働による健康障害など課題も多くなっており、とりわけ年末年始はあわただしく、生活のリズムも変わりやすく、特に大掃除や機械設備の保守点検・始動等非定常作業が多くなるので各職場では特別な配慮が必要になります。中央労働災害防止協会では「あせらず　無理せず　油断せず　無事故でつなぐ年末年始」を標語としています。

重点実施項目としましては、

①経営首脳部による特別安全パトロールの実施
②作業所閉鎖中の保安体策の確立
・休暇中の緊急連絡体制の確立と再確認
・現場巡視の実施
・第三者の立ち入り禁止措置の徹底
③三大災害防止対策の徹底
（墜落・転落災害、建設機械・クレーン等災害、倒壊・崩壊災害の防止）
④交通労働災害防止対策の徹底
・運転者に対する交通安全教育、安全管理の実施
・運転前点検の確実な実施、飲酒運転の厳禁
・運転中の携帯電話使用禁止の徹底
⑤火災・爆発等災害の防止対策の徹底
・火元責任者の選任と明示、火気使用中及び使用後の点検と確認の励行
・火気を使用する作業に際しての消火器、防火用水、砂等の適切な配置
・引火物、爆発物等の保管場所の指定、危険物の表示及びその付近での火気使用禁止の徹底
・現場の防火訓練、避難訓練の実施
⑥不安全行動による災害防止対策の徹底
・リスクアセスメントを取り入れた危険予知活動、ヒヤリハット運動、ひと声掛け合い運動、指差呼称運動等の積極的な実施
・近道・省略行動防止の徹底
・送り出し教育、新規入場者教育実施の徹底
⑦一酸化炭素中毒防止対策の徹底
・換気不十分な場所におけるガソリンエンジンなどを有する機械の使用禁止
・休憩所、詰所等の適切な換気
⑧健康管理の徹底
・作業員の健康状態の把握と適正な配置並びに心身両面わたる健康作りの実施
・年末年始は飲酒の機会も増加するため、暴飲・暴食を避け休養を十分とり、自己健康管理の徹底に勤める

以上、列記致しましたので参考にして下さい。何事も油断の無いよう、事にあたる前には少し立ち止まり、先の先まで考える心の余裕と適当な緊張感を持って行動して頂ければ、事故、災害等の防止に十分効果があると思います。宜しくお願い申し上げます。

安全環境健康課
古川　實

社長室だより 月間MVP賞

一一月度、月間MVP賞の受賞者が決定しましたのでご紹介します。

受賞者
名古屋支店　営業部
徳永　史郎　殿

この度、九〇KWの産業用太陽光発電システムの受注に多大なる貢献をして頂きました。営業協力に感謝し、月間MVPに推薦致します。

名古屋支店　環境部
部長　髙田　哲夫

月間MVP賞は当社職員だけでなく協力業者の皆様も表彰の対象となっています。自薦、他薦は問いません。多くの受賞者がでることを期待しています。

代表取締役社長
伊藤　孝芳

共済会だより

☆新しい仲間
一〇月一〇日付入社
西　太郎
東京支店　工事部

☆ご苦労様でした
一〇月三一日付退社
高原　亮
静岡支店　開発部

☆ご出産おめでとうございます
一〇月一二日
宮澤　瑛臣（あきおみ）くん　次男
大阪支店　工事部
宮澤　英利